

最新金型製作・成形技術における IoT の活用とそのメリット

・開催日時 平成 30 年 11 月 22 日 (木) 10 時 30 分～16 時 00 分 ・会場 きゅりあん (4 階第 1 グループ室) 東京都品川区東大井 5-18-1
 ・参加費 正会員 (個人・法人) 10,000 円 一般 (会員外) 15,000 円 (資料代、会場費、当日払い)

担当講師	講義内容
10 時 30 分～11 時 50 分 株式会社 KMC 代表取締役 佐藤 声喜氏	製造IoT・M2M&開発IoTによる製造業の電子情報化戦略 1. 製造IoTによる金型・部品生産における電子情報化 (1) 日本版IoT・M2Mシステム全体像——特色 (2) 電子カルテシリーズ—金型・設備／生産・測定／品証・在庫 (3) メーカー不問新旧不問のM2Mシステム軍師 (4) IoT・M2Mの導入のガイドライン (5) 中小から大企業まで加速する「電子カルテ・軍師」導入事例 (6) 導入効果 (7) IoT・M2Mの課題とこれからの情報化戦略 2. 開発IoTによる技術伝承と電子情報化——「ナレッジ電承」 ①ナレッジ電承の導入目的 ②ナレッジ電承の特色 (設計プロセス支援・検図機能など) ③「同じ失敗を繰り返さない・不良削減」運用事例 3. 金型・部品製造業のグローバル電子情報化戦略
12 時 50 分～14 時 10 分 株式会社シー・アイ・エム 総合研究所 営業推進部 佐木 俊郎氏	ライン停止のリスクを削減し金型の保守性を高めるための方策 1. 金型管理における各種課題と型管理ニーズの高まり 2. 金型管理システム「Dr. 型管」の特徴 (1) 基本情報管理——利用状況、保全情報 (2) 生産実績管理——使用機械、ショット数、 関連ドキュメント (3) 入在庫情報管理——移動・廃棄 (4) メンテナンス実績管理——メンテ理由、メンテ工数 3. Dr. 型管の導入メリット——ライン停止の未然防止等 4. Dr. 型管を活用したソリューション／今後の展望
14 時 20 分～15 時 40 分 株式会社打田製作所 代表取締役社長 打田 尚道氏	金型メーカーにおける ICT (Information and Communication Technology) 化の取組みと情報戦略 1. IT 化の理想と現実 (1) 思い込みの IT 化とデータの氾濫 (2) 市販システムの限界 2. オープンソースを利用した WEB & DB システムの独自開発 (1) 利用者が使いたくなる環境 (2) 全社で使えるシステム (3) 脱 OS 依存アプリケーション 3. 成功したこと／失敗したこと、変えたこと／変えなかったこと 4. 中小企業の IT 化と今後の課題